

あそびのレシピ

自分の役割を考える

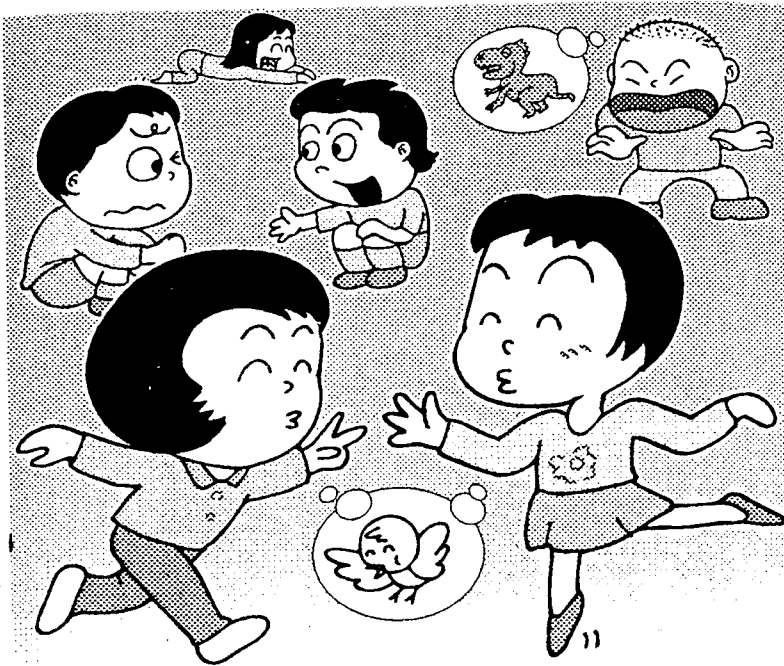
進化論ジャンケン

遊びの中には、競争を促すものがあります。こうした遊びの中では「相手より先に進みたい」と必死になり、目標を達成するためにいろいろ

人はその後、どうすればいい

のでしょうか。

今回の遊びは、目標を達成した人が自分の「役割」について考える遊びです。遊び終わった後、現実社会でのあなたの自身の「役割」も考えてみましょう。



- 【人数】 20人以上
- 【場所】 教室や体育館
- 【遊び方】

①グループを2～4に分け、進化の過程の動物とそれを表す動作を決める。たとえば、アメーバ→卵→鳥→恐竜→人間→宇宙人など。

②全員「アメーバ」からスタート。アメーバの動きをしながら同じ種族とジャンケン。勝てば「卵」になり、負ければアメーバのまま。

③続けて卵になった人は（卵の格好をしながら）同じ卵の人とジャンケン。勝ったら「鳥」になり、負けたら「アメーバ」に逆戻り。違った種族とはジャンケンできない。自分と同じ種族を早く探すため、動作を大きくしてアピールする。

④以下同様に、ジャンケンで勝てば進化し、負ければ後退。

⑤宇宙人まで上りつめたら、誰とでもジャンケンができ、負けても逆戻りしない。その他の種族は宇宙人にジャンケンで勝つたびに一つずつ進化。

⑥リーダーの合図で終了。宇宙人の数が多いチームの勝ち。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092 (882) 0363